



(1) 正面全景

靖國神社記念館の建築

はしがき

軍人勅諭御下賜五十年を記念するため、陸軍省では、かねて九段靖國神社の境内に、記念館を建築中であつたが、去二十一日、臨時大祭を前にして完工、盛大な完工祭を挙行した。

この記念館は、便殿、記念室、祭神遺族休憩室等に充てられるもので、全部木曾山産檜白木の嚴かなる社殿造りである。設計は伊東忠太博士及び陸軍省建築課の内藤、柳井兩技師の手になり、總工費 50,000圓、株式會社大林組の請負施工で、昭和七年八月工を起し、

此程竣工するに至つたものである。

工事概要

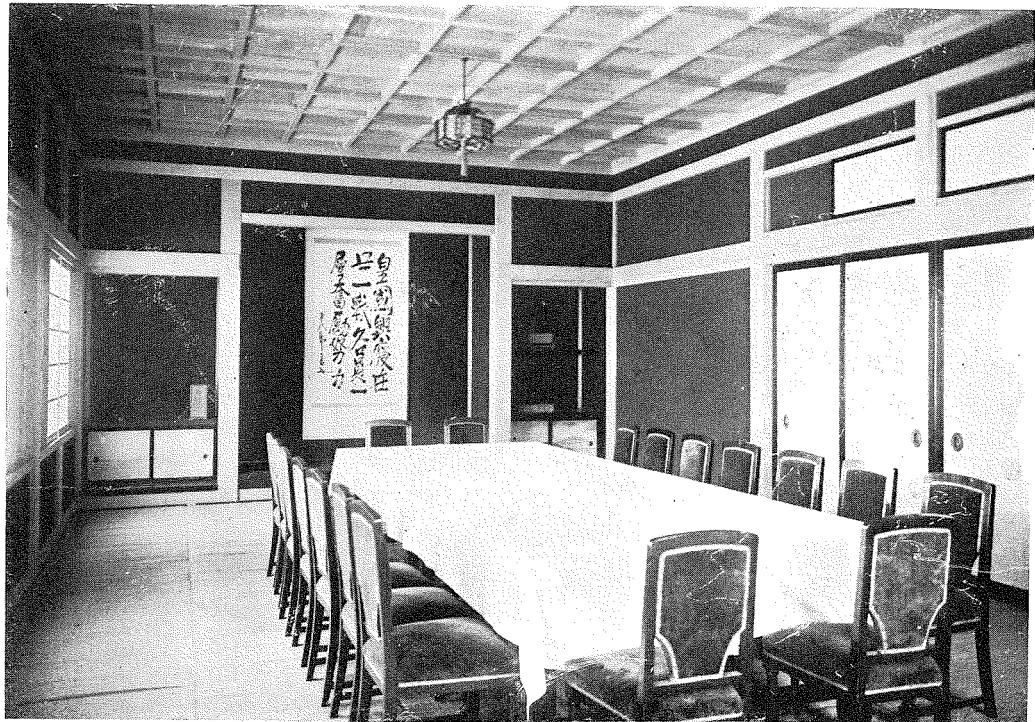
敷地	東京市麹町區靖國神社境内の一部
建物	木造平家素木建 壱棟
	附 車 寄
	〃 便 所 壱棟
	同湯沸所、下足所、渡廊下、壹棟
	(平面圖參看)
寸尺坪數	
本家	桁行14間 5 梁間 6間 } 87坪



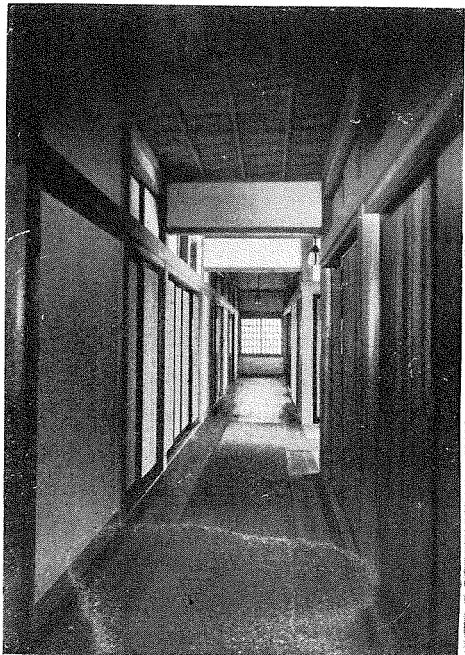
(2) 背面及庭園

車寄	桁行 1間 5 梁間 3間 }	4坪 5合
便所	桁行 2間 梁間 1間15)	3坪
湯沸所、下足所、渡廊下			
	桁行 4間 梁間 2間3.125)	9坪25
		建坪合計	103坪75
軒出	柱真より茅負下角迄	6尺 3寸	
軒高	地盤線より丸桁天端迄	15尺85	
棟高	同上、棟丸上端まで	34尺 0	
構造形式			
單層入母屋造りにして、車寄は唐破風、便所切妻、渡廊下切妻、社殿廻廊との取合せは舟肘木建である。			
屋根は全部銅板平葺で下地にフェルトを使			

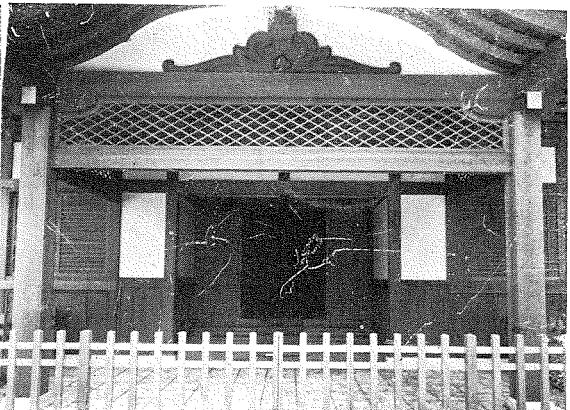
用、軒は二タ軒、檼は疎割、木舞裏、基礎コンクリート打地覆石据土臺建。
床は皇族室は櫛、楠、櫻、楓、神代櫛、遺族室及記念室はチークの寄木張及疊敷で、廊下は拭板張、便所はコンクリート床タイル張、車寄四半敷石。天井は皇族室が折上格天井、記念室及遺族室、玄關は平格天井、その他は二重臺輪猿頬天井である。
内法長押の一部は天井長押付、外部上下長押付、腰長押下は板張りである。
壁は内外共漆塗喰、一部砂壁、皇族室及記念室の内部は紙張り仕上げである。
建具は周囲が舞良戸硝子障子の二重締、内部は廊下側が戸襖、間仕切は襖、その他は硝子戸引違及び開戸。
周囲軒下石敷、渡廊下は軒樋付である。



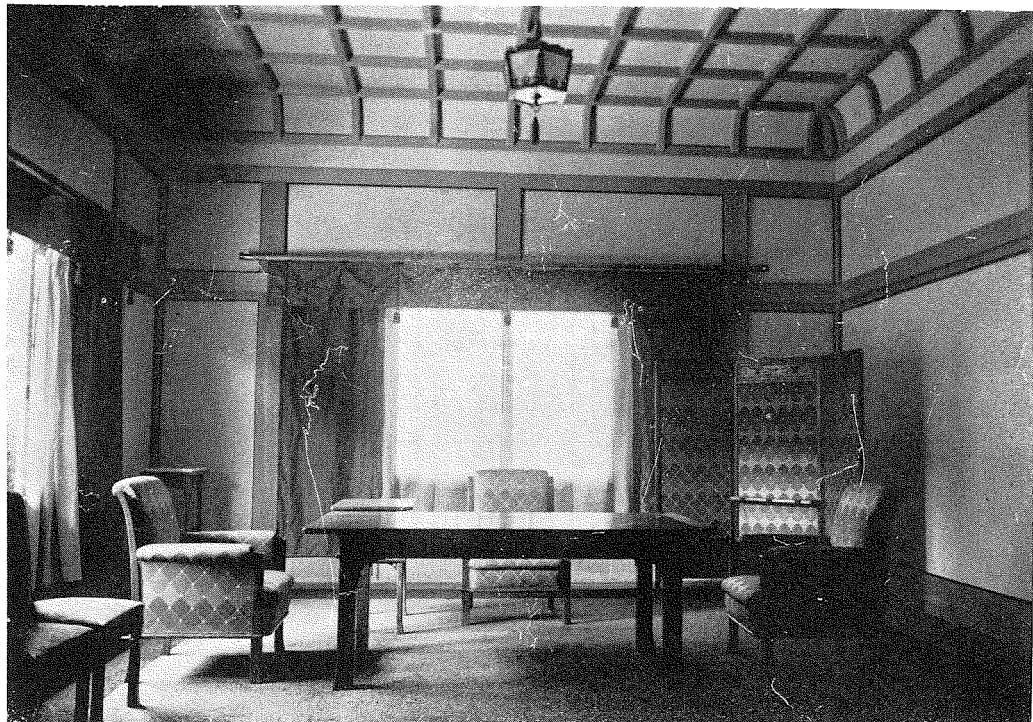
(3) 遺族休憩室



… (4) 廊下



(5) 車寄



(6) 皇族室

